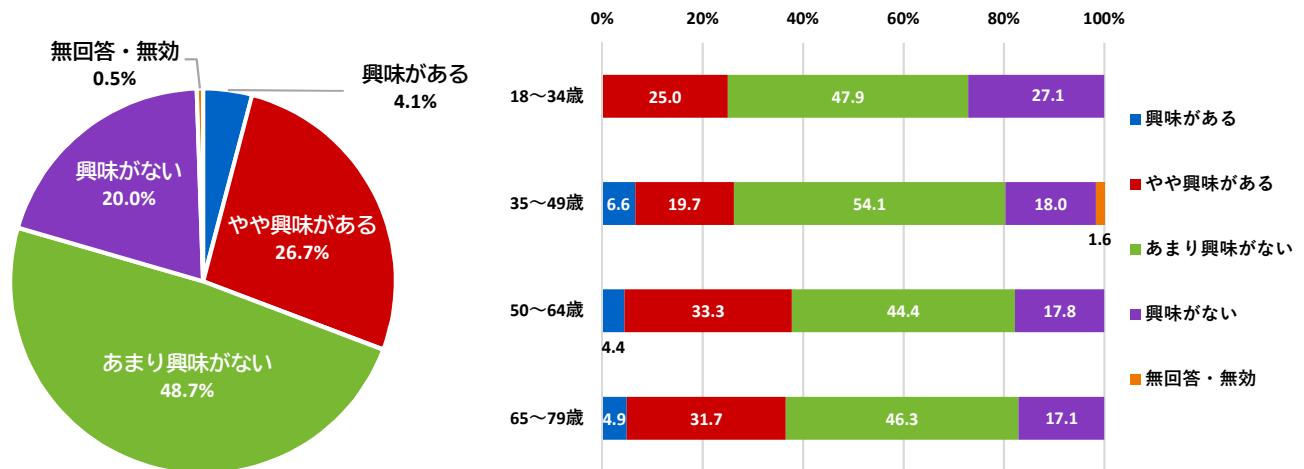


2 スポーツに関する意識について

(市民部 スポーツ振興課)

問1 パラスポーツ（障がい者スポーツ）について興味があるか

(n = 195)

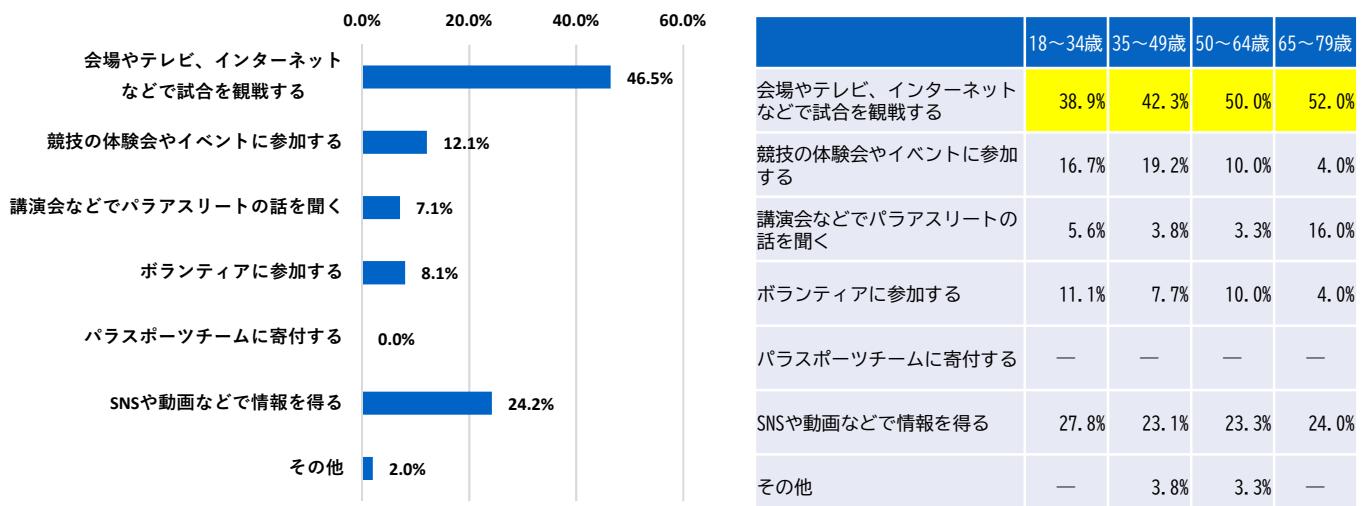


- パラスポーツ（障がい者スポーツ）に興味があるかについて、「あまり興味がない」が48.7%となっています。
- 世代別にみても、全世代において「あまり興味がない」が最多くなっています。

問2 パラスポーツ（障がい者スポーツ）についてどのようなことを実践したいと思うか

(n = 60 複数回答)

(問1で「興味がある」「やや興味がある」と回答された方)

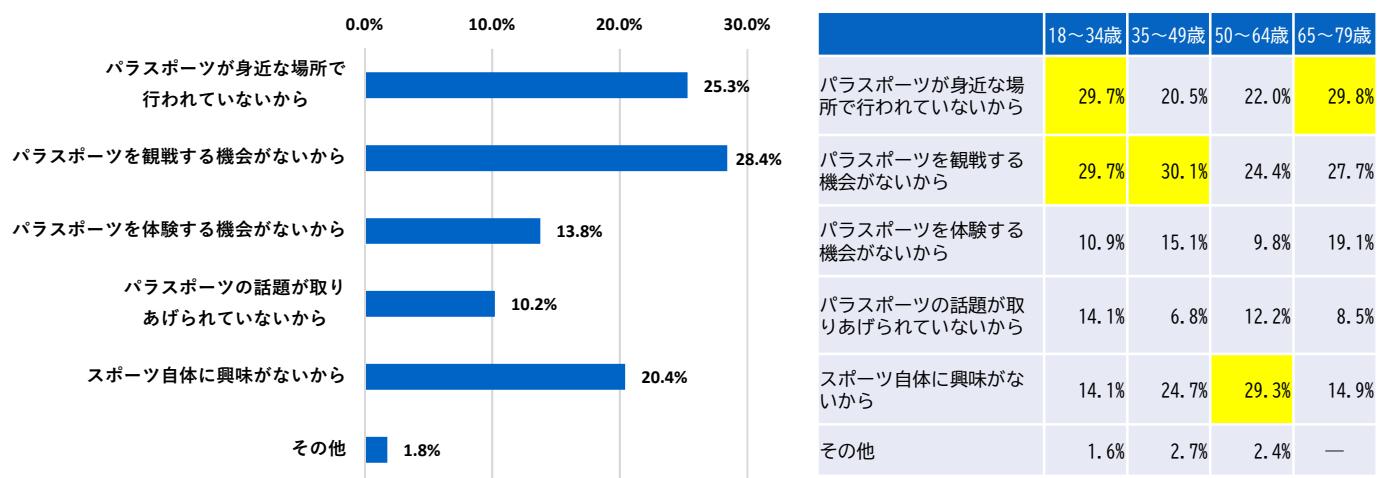


- パラスポーツ（障がい者スポーツ）についてどのようなことを実践したいと思うかについては、「会場やテレビ、インターネットなどで試合を観戦する」が46.5%となっています。
- 世代別にみても、全世代において「会場やテレビ、インターネットなどで試合を観戦する」が最多くなっています。

■ 問3 パラスポーツに興味がない理由はなにか

(n=134 複数回答)

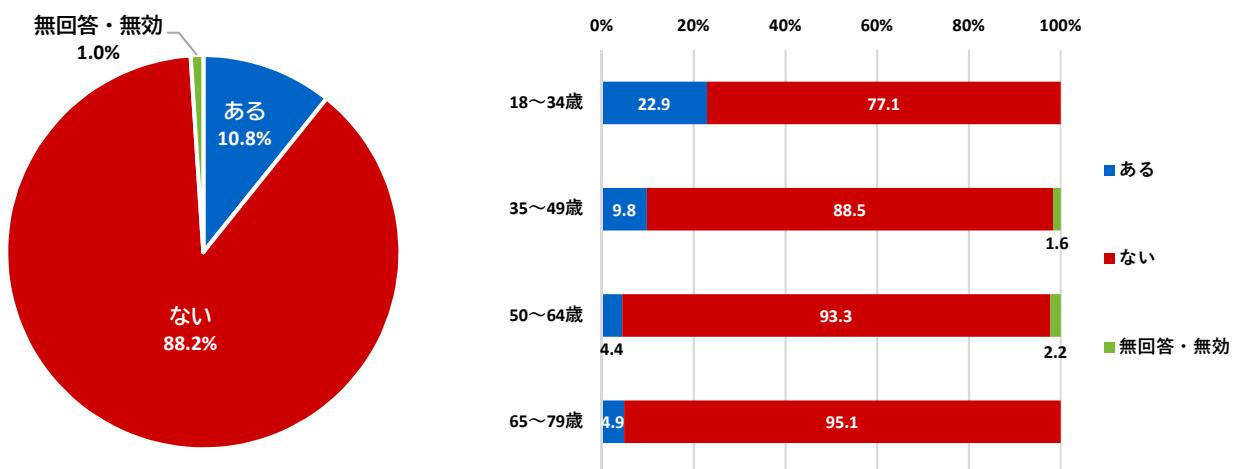
(問1で「あまり興味がない」「興味がない」と回答された方)



- パラスポーツに興味がない理由について、「パラスポーツを観戦する機会がないから」が28.4%、次いで「パラスポーツが身近な場所で行われていないから」が25.3%となっています。
- 世代別にみると、18~34歳では「パラスポーツが身近な場所で行われていないから」と「パラスポーツを観戦する機会がないから」が同率で、35~49歳では「パラスポーツを観戦する機会がないから」が、50~64歳「スポーツ自体に興味がないから」が、65~79歳では「パラスポーツが身近な場所で行われていないから」が最も多くなっています。

■ 問4 インクルーシブスポーツをやってみた（体験した）ことがあるか

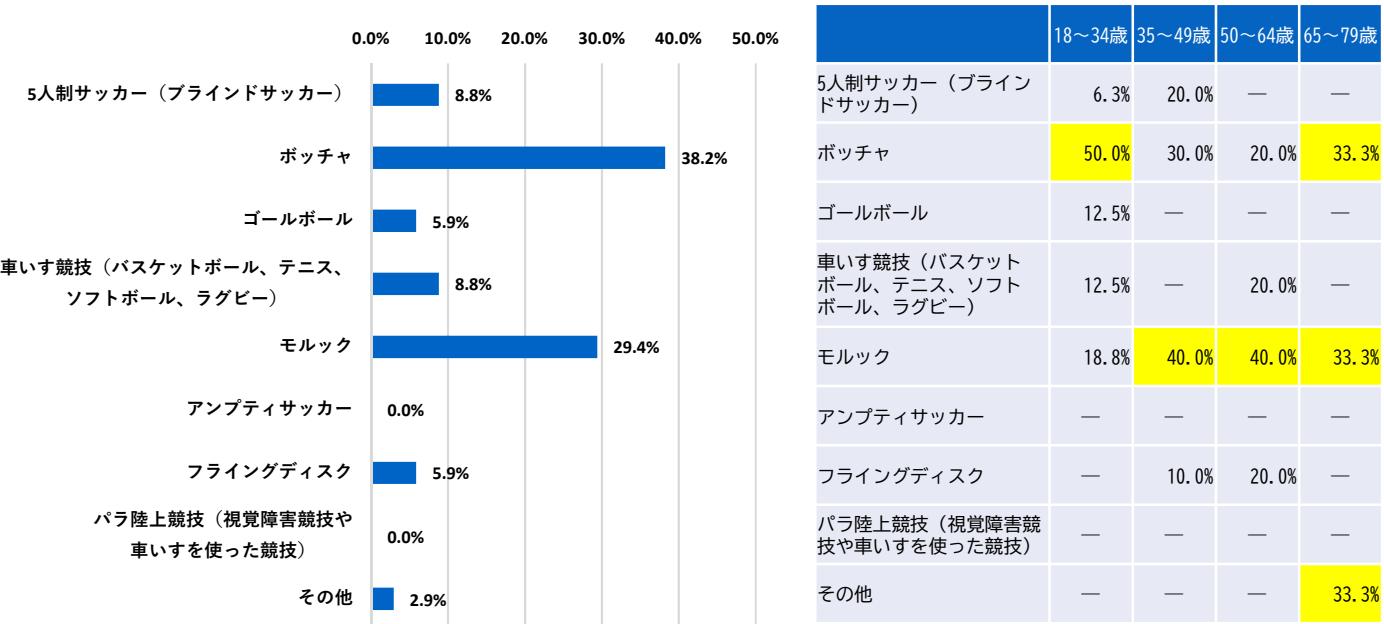
(n=195) ※インクルーシブスポーツとは、障がいの有無や年齢、性別、国籍等問わず、誰もが一緒に楽しめるスポーツのこと。



- インクルーシブスポーツをやってみた（体験した）ことがあるかについて、「ない」が88.2%となっています。
- 世代別にみても、全世代において「ない」が最も多くなっています。

■ 問5 インクルーシブスポーツの中で、どの競技をやってみた（体験した）ことがあるか

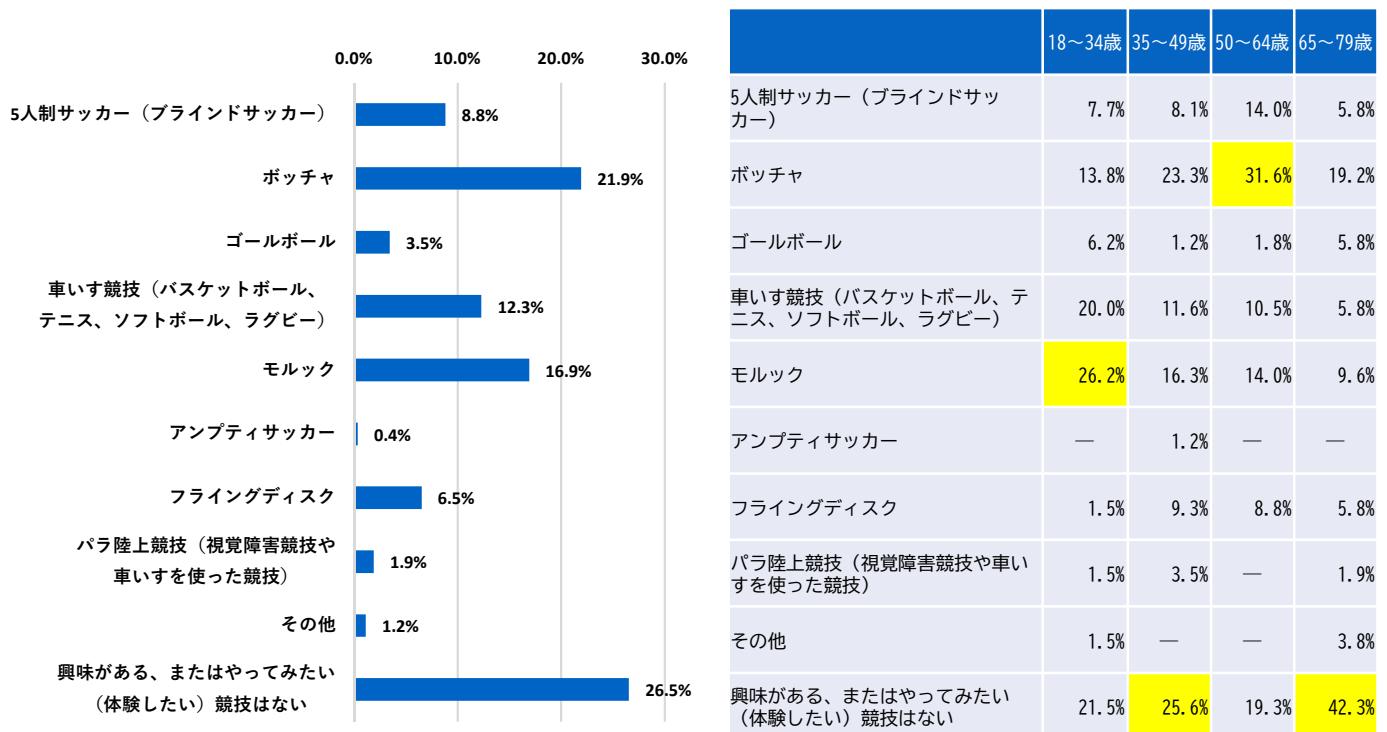
(n=21 複数回答)
(問4で「ある」と回答された方)



- インクルーシブスポーツの中で、どの競技をやってみた（体験した）ことがあるかについて、「ボッチャ」が38.2%、次いで「モルック」が29.4%となっています。
- 世代別にみると、18~34歳では「ボッチャ」が、35~49歳と50~64歳では「モルック」が、65~79歳では「ボッチャ」と「モルック」と「その他」が同率で最も多くなっています。

■ 間6 インクルーシブスポーツの中で、興味がある、またはやってみたい（体験したい）競技はあるか

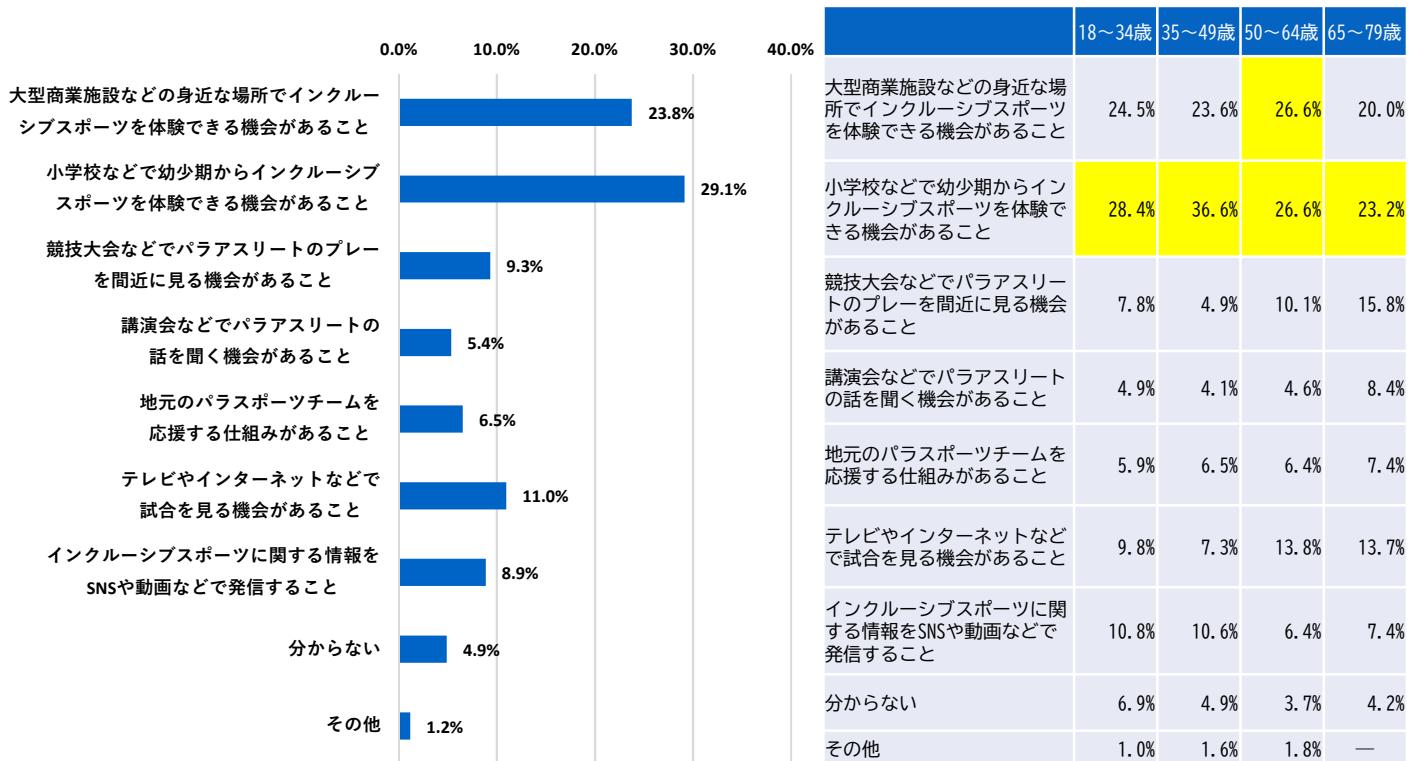
(n = 195 複数回答)



- インクルーシブスポーツの中で、興味がある、またはやってみたい（体験したい）競技について、「興味がある、またはやってみたい（体験したい）競技はない」が26.5%、次いで「ボッチャ」が21.9%となっています。
- 世代別にみると、18~34歳では「モルック」が、50~64歳では「ボッチャ」が、35~49歳と65~79歳では「興味がある、またはやってみたい（体験したい）競技はない」が、最も多いとなっています。

■ 問7 どのような取り組みがあれば、インクルーシブスポーツの普及につながると思うか

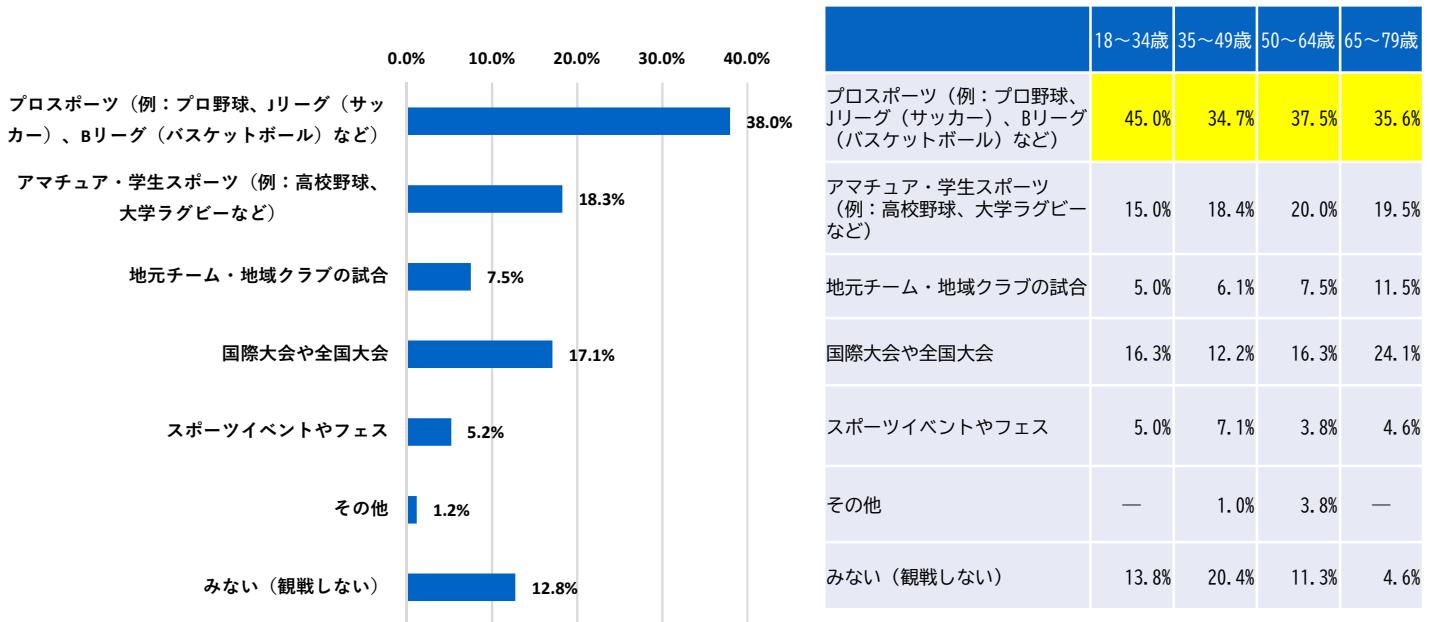
(n=195 複数回答)



- どのような取り組みがあれば、インクルーシブスポーツの普及につながると思うかについて、「小学校などで幼少期からインクルーシブスポーツを体験できる機会があること」が最も多く29.1%、次いで「大型商業施設などの身近な場所でインクルーシブスポーツを体験できる機会があること」が23.8%となっています。
- 世代別にみると、50~64歳では「大型商業施設などの身近な場所でインクルーシブスポーツを体験できる機会があること」と「小学校などで幼少期からインクルーシブスポーツを体験できる機会があること」が同率で、他の世代では「小学校などで幼少期からインクルーシブスポーツを体験できる機会があること」が最も多くなっています。

■ 問8 どのようなスポーツを「みる（観戦する）」ことに興味があるか

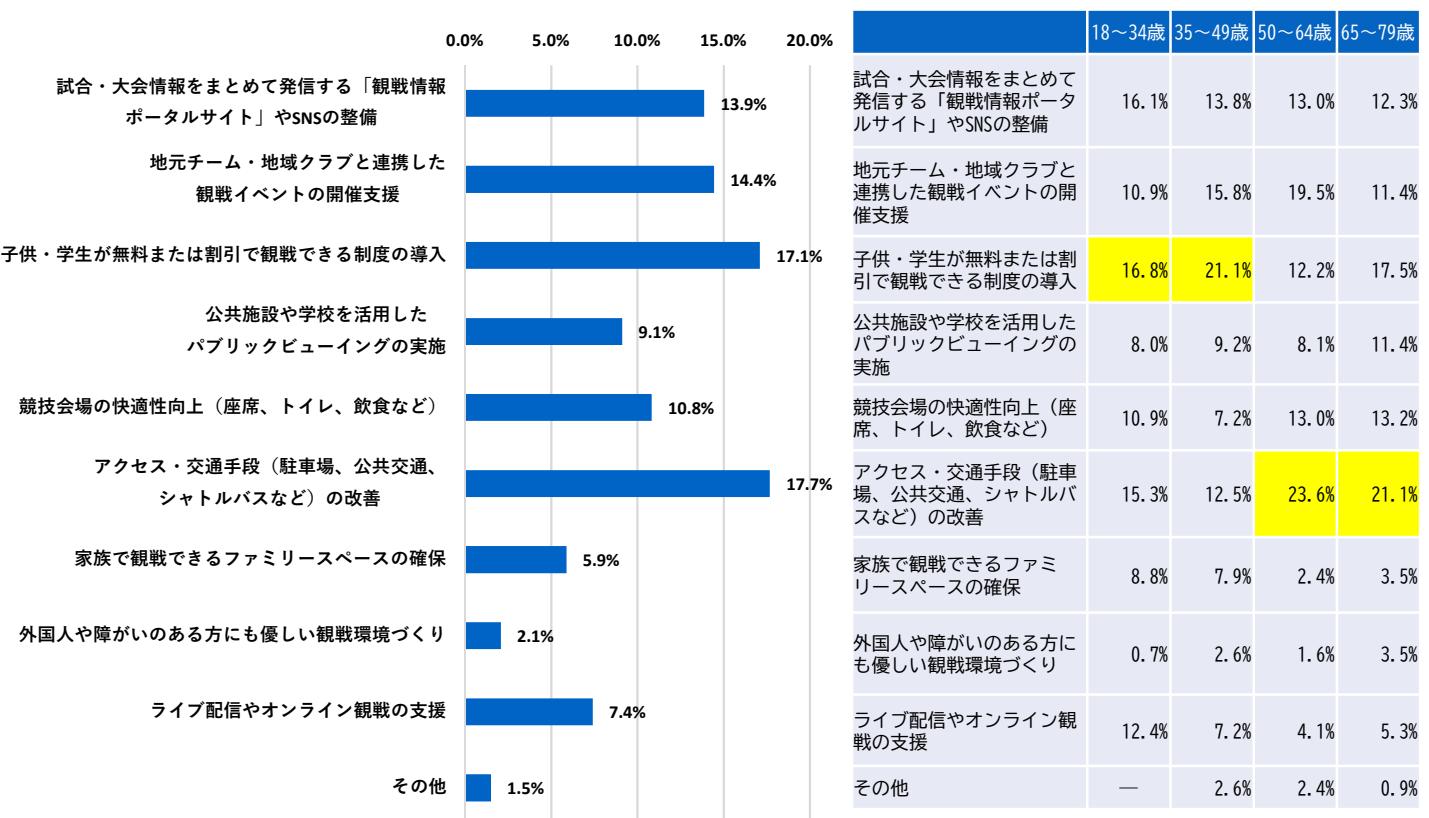
(n=195 複数回答)



- どのようなスポーツを「みる（観戦する）」ことに興味があるかについて、「プロスポーツ（例：プロ野球、Jリーグ（サッカー）、Bリーグ（バスケットボール）など）」が38.0%となっています。
- 世代別にみても、全世代において「プロスポーツ」が最も多くなっています。

■ 問9 市民がスポーツを「みる（観戦する）」機会を増やすために、どのような取り組みを進めるとよいと思うか

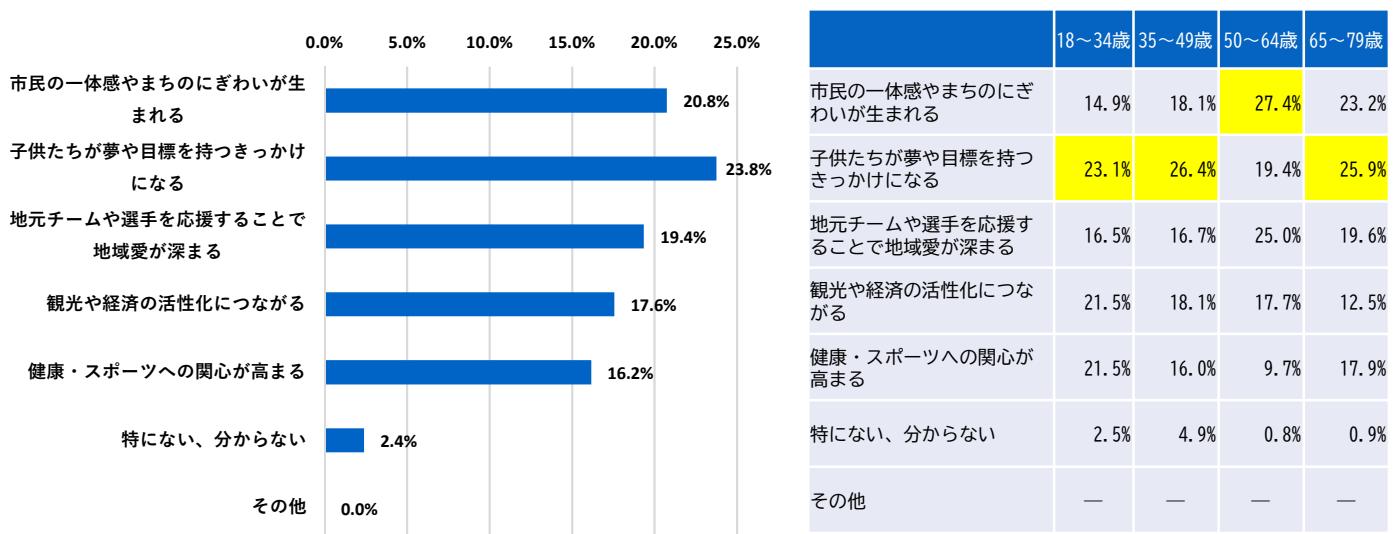
(n=195 複数回答)



- 市民がスポーツを「みる（観戦する）」機会を増やすために、どのような取り組みを進めるとよいと思うかについて、「アクセス・交通手段（駐車場、公共交通、シャトルバスなど）の改善」が17.7%、次いで「子供・学生が無料または割引で観戦できる制度の導入」が17.1%となっています。
- 世代別にみると、18～34歳と35～49歳では「子供・学生が無料または割引で観戦できる制度の導入」が、50～64歳と65～79歳では「アクセス・交通手段（駐車場、公共交通、シャトルバスなど）の改善」が最も多くなっています。

■ 問10 スポーツを「みる（観戦する）」ことが地域やまちに どのような良い影響をもたらすと思うか

(n = 195 複数回答)



- スポーツを「みる（観戦する）」ことが地域やまちにどのような良い影響をもたらすと思うかについて、「子供たちが夢や目標を持つきっかけになる」が23.8%、次いで「市民の一体感やまちのにぎわいが生まれる」が20.8%となっています。
- 世代別にみると、50~64歳では「市民の一体感やまちのにぎわいが生まれる」が、他の世代では「子供たちが夢や目標を持つきっかけになる」が最も多くなっています。